

「 コンクリートの品質・耐久性向上」  
に関する施工計画（施工方法等）(技術提案)

会社名 : \_\_\_\_\_

具体的な施工方法等

**1. 表面保護工**

**(1) 表面含浸工**

コンクリート表面仕上げ面（     の     部）及びコンクリート打継箇所（     部と     部の打継）  
に**コンクリート改質剤（CS -21）**を塗布する。

**【表面仕上げ面に対する施工方法】**

コンクリートを打設し十分な養生後に表面乾燥状態で CS -21 を噴霧器またはローラーで塗布する。

表面仕上げ面は、CS -21 クリアーを 0.2 kg/m<sup>2</sup> 塗布後、反応促進及び材料の浸透性促進のため水を 0.15 kg/m<sup>2</sup> 噴霧器で散布する。その後 CS -21 を 0.1kg/m<sup>2</sup> 塗布し同様に水を噴霧器で散布する。

CS -21 は PH 値 11.3 以上であり、アルカリ付与性を非破壊検査で確認する。

（1%フェノールメタノール溶液を散布し施工前との反応の差異を確認）

**【打継箇所への施工方法】**

打継箇所への施工は、コンクリート打継面のレイタンス及び汚れ等を除去（高圧ジェット・ハイウォシャー等）後、表面乾燥状態で CS -21 を散布する。

塗布量は塗布する表面の粗状況によるが 0.3kg/m<sup>2</sup> ~ 0.5kg/m<sup>2</sup> 程度とする。